

第2次山形県循環型社会形成推進計画[中間見直し版]に係る数値目標の進捗状況

1 基本的数値目標

(注)凡例:「◎」目標値を達成している、「○」目標達成に向けて概ね順調に進捗している、「△」計画策定時より悪化している、「-」その他。

項 目	【参考】 第2次計画策定 実績 年度		【参考】 中間見直し時 実績 年度		最新値 実績 年度		H32目標値	◇数値目標に対する評価、◆今後の対応
	実績	年度	実績	年度	実績	年度		
① 発生抑制に関する基本的数値目標								
ごみ(一般廃棄物)の排出量	416千t	H21	408千t	H26	405千t	H27	355千t	△ ◇景気を持ち直しや世帯数の増加により、平成24年度に増加し、その後概ね横ばいが続いている。 ◆家庭系ごみと事業系ごみ、それぞれの発生抑制を進めるために、なお一層の推進を図る必要がある。
うち事業系ごみ(一般廃棄物)の排出量	106千t	H21	111千t	H26	112千t	H27	89千t	△ ◇近年増加傾向にあり、経済活動や大規模小売店舗の増加が一因と考えられる。 ◆事業系ごみの排出抑制やリサイクルを推進するために、工業団地を対象とした3R実証モデル事業、もったいない山形協力店の登録事業を行う。 ◆市町村と連携し事業者に対し分別の徹底など排出抑制について周知・啓発等を行っていく。
※1人1日当たりの家庭系ごみの排出量	524g	H21	526g	H26	523g	H27	430g	△ ◇横ばいで推移している。 ◆生ごみの水切りや、食品ロスの削減、資源ごみの分別の徹底、3Rの推進などについて、一層の周知・徹底が必要であり、市町村での取組みの強化と県民運動による県民への周知を進めていく。
産業廃棄物の排出量	3,557千t	H21	3,558千t	H26	3,385千t	H27	3,558千t	◎ ◇順調に推移している(平成32年度目標を達成)。 ◆経済活動に伴う変動はあるので、引き続き排出抑制に取り組んでいく。
② 資源の循環的利用に関する基本的数値目標								
ごみ(一般廃棄物)リサイクル率	19.9%	H21	19.0%	H26	19.1%	H27	27%	△ ◇平成22年度をピークに伸び悩んでいる。 ◆市町村と連携し、家庭系での資源ごみや雑紙回収の分別、事業系での紙ごみ等リサイクルの推進を啓発していく。
産業廃棄物リサイクル率	58.4%	H21	59.0%	H26	60.0%	H27	60%	◎ ◇順調に推移している(平成32年度目標を達成)。 ◆引き続きリサイクルを推進していく。
③ 適正処理に関する基本的数値目標								
ごみ(一般廃棄物)最終処分量	48千t	H21	45千t	H26	46千t	H27	38千t	○ ◇平成23年度からは横ばいで推移している。 ◆排出量の削減、リサイクルの推進により最終処分量の削減を進める。
産業廃棄物最終処分量	113千t	H21	96千t	H26	90千t	H27	90千t	◎ ◇順調に推移している(平成32年度目標を達成)。 ◆引き続き排出抑制、リサイクルに取り組んでいく。

具体的な施策に関する数値目標(各主体別)

各主体の 取組み	項 目	数値目標項目	【参考】 第2次計画策定 時 実績 年度		【参考】 中間見直し時 実績 年度		最新値 実績 年度		H32目標値	◇数値目標に対する評価、◆今後の対応
			実績	年度	実績	年度	実績	年度		
県民の 取組みに 関する 目標	発生抑制	ごみの排出量(1人1日当り)	909g	H21	925g	H26	927g	H27	820g	△ ◇景気を持ち直しや人口減少・世帯数の増加により平成23年度の880gを底に増加に転じている。内訳をみると家庭系ごみは横ばいであるものの事業系ごみが増加していることによる。 ◆市町村に対し家庭系ごみに加えて事業系ごみの削減・リサイクルの取組みを一層進めるよう働きかけるとともに、企業に対し事業系ごみの発生抑制や減量化、民間事業者を活用したリサイクル事業の活用などの普及啓発を行う。
		ごみ焼却施設に搬入される生ごみ(厨芥類)の量	-		54千t	H26	46千t	H27	52千t	◎ ◇順調に推移している。 ◆経済活動による影響が大きいことから、引き続き食品ロス削減や生ごみのリサイクルを進めていく。
		やまがた環境展来場者数	20,000人	H22	19,774人	H27	17,483人	H29	毎年度 22,000人以上	△ ◇2日目の日曜が終日雨だったこともあり、来場者数が伸びなかった。 ◆天候に左右されず集客を図れるような魅力的なステージイベント等を企画するなど、継続して取り組んでいく。
	循環的利用	スーパー等による店頭回収量	888t	H21	1,755t	H26	2,085t	H28	2,000t	◎ ◇順調に推移している。 ◆市町村とともに分別とリサイクルの普及啓発を進めていく。
	3Rに係る 人材育成等	山形県環境学習支援団体認定数	24	H22	31	H27	35	H28	40	○ ◇順調に推移している。 ◆認定団体交流会等を通じて既認定団体の活動支援に資するとともに、制度・趣旨等についてさらなる広報・啓発を行い新規認定団体の増加を図る。
	不法投棄防 止	不法投棄原状回復未済箇所数	30	H21	18	H26	15	H28	10	○ ◇順調に推移している。 ◆継続して取り組んでいく。
		新規発生事案年度内解決率	-		40.9%	H26	46%	H28	50%	○ ◇順調に推移している。 ◆継続して取り組んでいく。
		不法投棄防止対策事業への参加者数	337	H21	371	H26	140	H28	450	△ ◇原状回復事業箇所数は年度により変動するため、参加者数も年度により増減がある。 ◆原状回復事業の実施の際は、関係者に対して、協力を呼びかけていく。
		不法投棄防止協力協定締結団体数	10	H22	15	H26	15	H28	17	○ ◇順調に推移している。 ◆継続して取り組んでいく。
	海岸漂着物 等対策	海岸清掃ボランティアの参加者数	1,507人	H21	3,254人	H26	3,607人	H29	毎年度 3,000人以上	◎ ◇目標値を達成しており、順調に推移している。 ◆継続して取り組んでいく。
海岸清潔度ランク		-	H21	46.2% (18/39区域)	H26	56.4% (22/39区域)	H28	H23年度春期比 1ランク以上アップ	○ ◇目標値の達成に向け改善しているが、前年度より短期目標を達成した区域が減少している。 ◆継続して取り組んでいく。	

具体的な施策に関する数値目標（各主体別）

各主体の取組み	項目	数値目標項目	【参考】第2次計画策定時		【参考】中間見直し時		最新値		H32目標値	◇数値目標に対する評価、◆今後の対応
			実績	年度	実績	年度	実績	年度		
事業者の取組みに関する目標	発生抑制	多量排出事業者数	151	H21	212	H26	226	H28	75	△ ◇経済活動の動向により、多量排出事業者数の変動がある。 ◆発生抑制を進めるための取組みが必要。
	循環的利用	一般廃棄物処分業者による再資源化量	10,428t	H21	11,769t	H26	12,068t	H27	15,000t	○ ◇順調に推移している。 ◆継続して取り組んでいく。
		紙ごみなど共同回収に取り組む団体数	-		1	H26	1	H28	10	- ◆工業団地での共同回収等を進めるため、リサイクルモデルの構築と普及を進めていく。
		建設業におけるリサイクル率	90%	H21	91%	H26	5年に1度の調査		90%	- ◇5年に一回の調査結果ではあるが、平成21年度と同程度となっている。 ◆今後も目標達成を維持できるよう「山形県建設副産物情報HP」による情報発信等により情報を共有し、積極的にリサイクルの向上を図る。
	循環的利用	下水汚泥リサイクル率	75%	H21	83.9%	H26	85.1%	H28	85%	◎ ◇県内のリサイクル率は着実に上昇している（目標値を達成）。 ◆今後も市町村と有効利用に係る情報共有等を通じて、県内の下水汚泥リサイクル率の向上をめざす
		農業用廃プラスチックのリサイクル率	77.5%	H21	73.4%	H26	74.4%	H27	90%	△ ◇昨今、業者による無料回収が増加しており、市町村協議会による回収量が減少していることから、リサイクル率も低下している。 ◆今後、市町村協議会による回収のPRを図る等、推進に向けた取組が必要である。
		製造業等におけるリサイクル率	35%	H21	34.7%	H26	5年に1度の調査		45%	- ◇5年に一回の調査結果ではあるが、平成21年度と同程度となっている。 ◆工業団地を対象としたセミナーや3Rコーディネーターの企業訪問によりリサイクルの推進を働きかけていく。
	3Rに係る人材育成等	リサイクルシステム認証制度の認証数	6	H22	7	H27	6	H28	11	○ ◇新たな認証もあるが更新しないシステムもあり、伸び悩んでいる。 ◆優れたリサイクルシステムの情報収集を行い、リサイクルシステム認証に向けた働きかけを行っていく。
	循環型産業	3R推進環境コーディネーターの相談企業数(年間)	150件	H22	219件	H26	352	H28	250件	○ ◇順調に推移している。 ◆継続して取り組んでいく。
		リサイクル製品認定数	50製品	H22	53製品	H26	62製品	H28	70製品	○ ◇順調に推移している。 ◆継続して取り組んでいく。
		リサイクル認定製品販売額	669,840千円	H21	4,302,009千円	H26	4,251,939千円	H28	4,700,000千円	○ ◇認定製品の増加に伴い、順調に推移している。 ◆継続して取り組んでいく。
		新たな再生可能エネルギー活用事業者数	-		3	H26	5	H28	10	○ ◇平成28年度は民間事業者による木質バイオマスボイラーの導入は2件で概ね順調に推移している。 ◆再生可能エネルギー設備導入事業費補助金及び再生可能エネルギー事業者支援事業費補助金により導入を支援していく。
		環境保全型農業実施農家の割合	58%	H21	56%	H23	41%	H27	75%	△ ◇環境保全型農業の推進により、以前に比べその取組みが拡大し栽培方法が一般化してきたため、実践農業者の自己認識が薄れ、数値に反映されなかった。 ◆農業者の実践意識の醸成を図るとともに、「全県エコエリア構想」のもと環境保全型農業のさらなる拡大を推進する。
	適正処理	優良産廃処理業者認定件数	0	H22	72	H26	94	H28	100	○ ◇順調に推移している。 ◆継続して取り組んでいく。
		電子マニフェスト導入許可業者数	181	H21	236	H26	272	H28	600	○ ◇増加しているものの伸び率は高くない。 ◆各種講習会を通じて制度の周知を図っていく。
		電子マニフェスト活用排出事業者数	305	H21	561	H26	911	H28	1,300	○ ◇増加しているものの伸び率は高くない。 ◆各種講習会を通じて制度の周知を図っていく。
		行政検査の違反率	7%	H21	5%	H26	11%	H28	2%	○ ◇違反率は減少していない。 ◆監視指導を強化していく。
		高濃度PCB廃棄物処理の進捗率	13%	H22	37%	H26	82%	H28	80%	◎ ◇目標を達成している。 ◆新たに発見されるPCB廃棄物も含め、期限までに全量処分されるよう、継続して取り組んでいく。
		安定器等・汚染物の処理進捗率	-		10%	H26	47%	H28	60%	○ ◇順調に推移している。 ◆継続して取り組んでいく。
		最終処分場の放流水検査等の違反率	5%	H21	5%	H26	3%	H28	2%	○ ◇順調に推移している。 ◆監視指導を強化していく。
最終処分場跡地の違法な掘削行為件数		0%	H21	0%	H26	0%	H28	0%	◎ ◇順調に推移している。 ◆継続して取り組んでいく。	
市町村の取組みに関する目標	発生抑制	雑紙回収実施市町村数	-		27	H26	29	H27	全市町村	○ ◇順調に推移している。 ◆雑紙回収を実施していない市町村に対して、地域循環検討会議等で働きかけていく。
	循環的利用	生ごみリサイクルが行われている市町村数	13	H22	14	H26	15	H28	23	○ ◇市町村による堆肥化やBDF化の取組みが伸び悩んでいる。 ◆リサイクルを進めるための課題を整理し、取組みに反映させる必要がある。
		小型家電リサイクルに取り組む市町村数	-		20市町村	H26	35市町村	H29	全市町村	◎ ◇全市町村において回収を行っている。 ◆回収方法の追加や事務組合での実施について働きかけ、回収量を増やすよう働きかけていく。
	3Rに係る人材育成等	ごみ処理有料化実施市町村数	30市町村	H22	30市町村	H26	30市町村	H28	全市町村	○ ◇庄内地域で未実施。 ◆庄内地域のごみ有料化導入に向けて、より一層の取組みが必要である。
	循環型産業	グリーン購入調達方針策定市町村数	10市町	H22	11市町	H26	19市町	H28	全市町村	○ ◇順調に推移している。 ◆市町村担当者会議等で未策定の市町村に策定を働きかけていく。
		焼却処理された一般廃棄物のうち発電設備の設置された焼却施設で処理されたものの割合	-		31%	H26	33%	H27	70%	○ ◇酒田、置賜の焼却施設で発電している。 ◆今後更新する焼却施設に発電設備を設置するよう働きかけていく。
	適正処理	処理業者と市町村等との環境保全協定締結数	86	H21	96	H26	96	H28	100	○ ◇概ね順調に推移している。 ◆継続して取り組んでいく。
	災害時対策	災害廃棄物処理計画(災害廃棄物対策マニュアル等)の策定市町村数	-		0	H26	0	H28	全市町村	- ◆県の災害廃棄物処理計画策定に合わせて市町村の計画策定を指導していく。